



病院だより

南砺市民病院
〒932-0211 富山県南砺市井波938番地
TEL:0763-82-1475 FAX:0763-82-1853
<http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/>

平成31年度
南砺市民病院看護師特定行為研修

開講式

日時：平成31年4月5日
会場：南砺市民病院



南砺市民病院において、自治体病院初となる“看護師特定行為研修開講式”が挙行されました。南砺市民病院から2人の研修生をむかえ、富山県厚生部医務課長五十嵐司様、富山県看護協会会長大井きよみ様、砺波厚生センター所長垣内孝子様のご臨席を賜り、設置母体である田中南砺市長と清水院長の出席のもと、盛大に開講式が執り行われました。

田中南砺市長からは、「高齢化が進む南砺市において、それに伴い複雑化する疾病を的確にアセスメントし重症化予防を行うなど、特定行為研修を修了した方達が活躍することで、安心して在宅療養が行えるよう地域包括ケアシステムの構築に役立てられることを期待します」、南砺市民病院清水院長からは、「まずは院内で特定行為を実践し、質の高い医療と看護を行い、今後は在宅療養に向けて取り組むよう励んでください」と、激励がありました。

また、富山県医務課五十嵐課長様からは、「富山県の自治体病院初の特定行為研修機関としての意義について」、富山県看護協会大井会長様からは、「南砺市民病院が取り組む特定行為創傷管理関連を選択されたことで、富山県全体の特定行為区分の拡大を広げていく先駆けとして期待したい」とそれぞれご祝辞を賜りました。



研修生

南砺市民病院看護師特定行為研修生2人からは、「これまで曖昧であった知識をより深めていくことで、医師とさらに連携を深めながらより良い看護を提供していけるよう頑張ります。」と誓いの言葉が述べられた。



研修風景

4月より研修が始まっており、医師の指導のもと、演習をしています。

「特定行為」とは

診療の補助であり、看護師が「手順書」により行う場合には、実践的な「理解力」「思考力」及び「判断力」並びに「高度かつ専門的な知識及び技能」が特に必要とされる38行為です。

「看護師特定行為研修」とは

看護師が手順書により特定行為を行う場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を習得する学習です。

共通科目 315時間

特定行為区分 創傷管理関連・栄養と水分に係る薬剤投与関連
2区分108時間（南砺市民病院の場合）

南砺市民病院特定行為研修指定機関では、高齢化複雑化する入院患者及び在宅療養患者が増加する中で、看護師に求められているものは多岐にわたっており、地域のニーズに積極的に対応できるよう、特定行為研修により看護師の人材育成を行い、質の高い医療・看護を提供していきたいと考えています。

南砺市民病院 回復期リハビリテーション病棟の紹介

当院の回復期リハビリテーション病棟は、砺波広域圏で唯一の回復期リハビリ機能を専門的に発揮している病棟です。主に南砺市や、砺波市在住の方で、急性期治療が終了し状態が安定した脳血管疾患、骨折、心不全や肺炎後の廃用で、日常生活が困難な方の生活への復帰を目指しております。院外からの紹介も多く、昨年度は市立砺波総合病院から60件の転院依頼がありました。また、富山大学等県内外の大学病院からの紹介も受け入れております。

医師、看護師を始め、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、薬剤師、介護福祉士、社会福祉士がチームを組んで関わらせて頂いております。

患者さまの社会背景や興味関心等の個性性を大切にして、持てる機能を最大限に発揮できるように365日サポートしております。

回復期病棟の様子



畑仕事の経験を活かして、病棟の「太陽さん農園」で野菜を育てています

入院中に調理訓練をする事で自信に繋がります



退院後の生活により近い環境のリハビリを提供するため、住宅環境を確認してます

回復期リハビリの実績

全国平均との比較 /

	当院	全国平均
年齢	79.7歳	76.5歳
FIM利得	23.1点	23.2点
入院日数	53.6日	67.4日
在宅復帰率	87.0%	79.4%

当院のデータは平成30年4月～12月に回復期病棟を退院した患者様を対象とし分析。
全国平均は、全国回復期リハビリテーション病棟協会の平成30年8月9月退院患者調査データより抜粋。



介護ロボット「パロ」です。皆を癒やしてます



今年度より新たに南砺市市民病院に勤務する職員です。皆様よろしくお願ひします！

医師 内科



「回る風車は美しい」生き生きと物事に励むようにと子どもの頃にいただいた言葉です。

刑部 正人


医師 眼科



地域医療に眼科分野で貢献できるようにがんばります。

藤井 揚子


初期研修医



できること、できるべきことを1つずつできるように増やしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

浦山 守

初期研修医



福井県から来ました。病院のこと、南砺市のことをもっと知りたひです。

加藤 大思

看護師 診療看護科



南砺市市民病院は、市民・職員を大切にすする温かい印象を受けました。私も、一期一会の気持ちで努めてまいります。

片田 美香


看護師 2病棟



入院患者さんの一番身近な存在として、闘病のつらさや不安に寄り添ひ、家族の方とともに支えられる看護師になりたいです。

中嶋 瑞穂


看護師 2病棟



「一期一会」を念頭に、その時々を大切にできる看護師としてがんばっていきたくと思ひます。

明法寺 洋

看護師 3病棟



「あなたの言葉や笑顔に助けられたよ」と言っていただけのような看護師を目指してがんばります。

清水 明香里

看護師 3病棟



患者さんに対して、安心・安楽な看護を提供できるよう正しい知識と技術を早く身に付けていきたくと思ひます。

関 香菜子


看護師 3病棟



明るく笑顔で、患者さんから信頼されるよう責任と根拠をもって行動する。わからないことはそのままにしない！

丸山 めぐみ

看護師 4病棟



笑顔を忘れず、患者さんやスタッフの皆さんから信頼される看護師を目指して、日々学んでいきたくです。

稲葉 桃子


看護師 4病棟



笑顔で親身に患者さんやご家族と関わり、思いに寄り添うことができる看護師を目指していきたくです。

森田 優希


看護師 4病棟



「完璧な好機など永遠に來ない」何事も今はまだだと考えず、前向きに挑戦していきたくです。

吉田 ひかり

看護師 4病棟



日々成長していきけるよう努力し、知識と技術を身に付け、患者さんやご家族を支えていきたくです。

草塩 寛之


理学療法士



「磨穿鉄硯」人一倍努力をし、感謝と敬意を忘れず、1人でも多くの人を幸せにできる理学療法士になります。

大兼政 秀斗

事務 総務課



病院全体の縁の下の力持ちになれるよう、新人らしく精一杯がんばります。

中田 敦子

事務 医事課



感謝の心を忘れず、目の前の仕事に1つひとつ丁寧に取り組み、より良い病院作りに役立てるようがんばります。

浦田 悠菜

「フレイル」という言葉を聞いたことはありますか？直訳すると“虚弱”という言葉があてはまります。人が高齢になって亡くなるまでを調べた結果、約7割の方が75歳を境に足腰が弱くなり歩けなくなって、10年ほどかけてほぼすべての日常生活に介護を要するようになる、ということがわかっています。まさに、自立した方が「フレイル」状態を経て要介護状態に至るということが示されています。要介護状態にまでなってしまうと元に戻ることはほぼ不可能ですが、それまでの足腰が弱くなり…という時期にしっかり予防することができれば寝たきりにならずに済む、あるいは寝たきりになる時期を遅らせることができます。フレイルを進行させないために重要なことは社会参加、身体活動、栄養状態の3つであると言われています。すなわち、“しっかり噛んで食べて、しっかり動き、そして社会性を高く保つ”という生活を維持することが、元気に長生きすることにつながります。中でも、口の機能低下（オーラルフレイル）は比較的初期の段階に現れ、回復可能な余地を大いに残す領域であると考えられています。口には、食べる、話す、呼吸する、力を出す、など生きていく上で欠かせないたくさんの機能があります。食事の時間が長くなったりちょっとしたむせや食べこぼしに対しては、一般的な口腔体操や友人と会話をしたり食事を楽しんだりすることで改善が可能です。よく噛むためにはやはり自分の歯をたくさん持っておくことが重要で、歯がなくなれば噛む機能が低下し、食べられるものも限られることで外食の機会も減るでしょうし、食事量も少なくなってしまう。食事量が少なくなれば食欲も減退し、噛むことに関わる筋肉も減少し発語や会話もスムーズにできなくなってしまいます。日頃からむし歯や歯周病の予防をしてできるだけ多く自分の歯を残しておくことに加え、フレイル予防ということも頭の片隅において口の機能を衰えないようにしましょう。そして、そのことが身体の機能低下を防ぎ健康長寿の実現につながります。

歯科医院に行っておし歯や歯周病の検査をしたことがある方は多いかもしれませんが、口の機能を検査したことがある方は少ないのではないのでしょうか。口の機能は口腔衛生状態、噛む力、舌の力・動き、唇の力、飲み込む力を総合的に評価して判断します。気になる方は一度かかりつけの歯科医院にてご相談ください。

健康教室

「認知症予防～生活習慣と予防トレーニング～」

作業療法士 齋藤 洋平
保健師 大西 真弓
認知症看護認定看護師 川那辺 由理

最近、ニュースや情報番組を通じて、認知症への関心が高まる一方、前段階での発見方法や予防策は、まだ十分とはいえません。

南砺市民病院では、15年以上前からもの忘れ外来を開設し、2018年度からは、介護予防事業にて、認知症の早期発見や予防について取り組んできました。そのなかで、身体機能、認知機能の複合的なトレーニングや生活習慣の見直しによって、参加者の7割以上に認知機能の改善がみられ、2割は維持できたとの結果が出ています。

このような当院での取り組みは、健康教室にて随時紹介しており、4月は「認知症予防～生活習慣と予防トレーニング～」をテーマに行いました。

認定認知症看護師が、認知症予防のための生活習慣や病気との関係について紹介し、日頃から、自分自身で管理する大切さについて解説しました。参加者とのやりとりを交えて行うことで、バランスのよい食生活や生活習慣の改善が、認知症予防にもつながることをより理解していただけたようでした。作業療法士は、身体機能と認知機能の複合的なトレーニングを紹介し、市民病院と南砺市で新たに作成した「ほっとあっとなんと体操 バージョン3」を解説しながら行いました。汗をかいて取り組まれた方々からは、「頭と体に効いた」「自宅や公民館などで、大勢でやりたい」など、よい感想をいただきました。

市民病院では、病気や障害を持たれた方への診療だけでなく、今回紹介したような、健康寿命延伸に向けた取り組みも多く行っています。病院以外に、公民館やショッピングセンターなど、様々な場所で行っていきたくと思っていますので、ご要望などありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



2019年度 6～9月 健康教室のお知らせ

月	日 時	場 所	教 室 名	
6月	27日(木) 18時30分～20時	講 堂	生活習慣改善コース① (ナイトスクール) ※要予約	未来を変える“塩”の話 ～高血圧予防は減塩対策から～
7月	18日(木) 14時～15時30分	講 堂	いきいき生活コース②	大切な骨を守ろう！
8月	1日(木)～7日(水) イベント6日(火) 10時～12時	1階ロビー他	イベント	栄養週間 ～地域住民と栄養を楽しもう！～
	29日(木) 18時30分～20時	講 堂	生活習慣改善コース② (ナイトスクール) ※要予約	未来を変える“糖”の話 ～糖尿病予防・肥満解消に向けて～
9月	19日(木) 14時～15時30分	健康管理科	いきいき生活コース③	あなたのお口は“健口”ですか？

<予約・お問い合わせ> 健康管理科 82-1475 (代表)